

山口情報芸術センター [YCAM] イベント

第7回 未来の山口の運動会 —あつまれ！未来のスポーツ収穫祭

2023年5月5日（金・祝）

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオAほか

5月の山口は新しいスポーツが大豊作！

山口情報芸術センター[YCAM]では、新しいスポーツを複数人の協働により開発する「スポーツ共創」の山口での実践を紹介し、実際にその手法で生み出された新しいスポーツ種目を実施する運動会形式のイベント「第7回 未来の山口の運動会 —あつまれ！未来のスポーツ収穫祭」を開催します。

近年、ビデオゲームをスポーツとして捉える「eスポーツ」の台頭など、スポーツと人との関わり方はますます多様化が進み、従来のスポーツを取り巻く「する」「見る」「支える」といった関わり方に、新たに「つくる」を加える「スポーツ共創」は高い注目を集めています。

本イベントでは、様々な立場からスポーツ共創を実践してきた山口市在住のクリエイターをイベントの運営に迎え、彼らの山口での実践を紹介するとともに、彼らが山口で生み出したスポーツ種目を実施します。

近年注目を集めるスポーツ共創の地方都市での実践にフォーカスした本イベントは、スポーツとの新しい関わり方はもちろん、地方都市での共創の応用可能性について触れる機会となるでしょう。ぜひご参加ください。



「第4回 未来の山口の運動会」（2019年）と「YCAMスポーツハッカソン2020」の様子
撮影：谷康弘

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 メールアドレス：press@ycam.jp ウェブサイト：www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

変わりゆくスポーツ観 —— スポーツは、つくれる。



「スポーツ共創人材育成ワークショップ」の様子(2020年)
撮影：谷康弘

YCAMでは2015年からスポーツに関する研究開発プロジェクト「YCAMスポーツ・リサーチ」の一環として、スポーツ共創に関する取り組みを継続的に実施してきました。その代表的な例が、メディア・テクノロジーを駆使して新しい運動会種目を開発する「YCAMスポーツハッカソン」と、そこで生まれた種目を実際に実施する「未来の山口の運動会」です。従来のスポーツを取り巻く「する」「見る」「支える」といった関わり方に、新たに「つくる」を加える「スポーツ共創」の手法を用いたこれらのイベントは、一般社団法人運動会協会をはじめとする外部のコラボレーターと連携しながら、近年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けつつもオンライン、そしてオンラインと実空間のハイブリット形式での実施など、形式を変えながら現在まで継続しています。

こうしたなか、東京オリンピックの開催の影響による全国的なスポーツ共創の普及も進み、山口市内においても、YCAMとは異なる目的意識、例えば観光や教育などの分野にスポーツ共創を応用する取り組みが現れるようになってきました。そこで今回、YCAMのこれまでのスポーツ共創に関わる取り組みの集大成として、山口市内のスポーツ共創の実践者と新しいスポーツとの関わり方を紹介するとともに、実際に身体を動かしてそのエッセンスに触れるイベントを開催することにしました。それが「第7回 未来の山口の運動会—あつまれ！未来のスポーツ収穫祭」です。

■ 第1回～第6回 未来の山口の運動会



撮影：田邊るみ

「YCAMスポーツハッカソン」で生み出されたスポーツを体験する運動会形式のイベント。YCAMのもつ様々なメディア・テクノロジー技術と参加者のアイデアによって生み出された「未来の運動会」の種目を実施。参加者はチームに分かれ、勝敗を競う。学校や地域でおこなわれる運動会とは一味違う未来の運動会。

■ スポーツ共創人材育成ワークショップ



撮影：谷康弘

「スポーツ共創」に関わる人材を育成する合宿形式のイベント。スポーツ共創や周辺分野の専門家を講師に迎え、スポーツ共創イベントの設計手法を学ぶとともに、参加者が自身のコミュニティなどでスポーツ共創を実現するためのアプローチを検討する。2018年から会場を変えながら毎年開催されており、2020年12月にはYCAMでも開催した。

新しいスポーツ、一緒に育てる



「第5回 未来の山口の運動会」の様子（2020年）

「第7回 未来の山口の運動会 — あつまれ！未来のスポーツ収穫祭」は、スポーツ共創を実践してきた山口市在住のクリエイターたちを運営に迎え、身体を動かしながら気軽にスポーツ共創に触れることができる運動会形式のイベントです。

参加者はまずチームに分かれ、メディア・テクノロジーや身近な日用品を駆使して新しいスポーツのアイデアを実現する「スポーツハッカソン」に挑戦。開発（デベロップ）と実践（プレイ）を繰り返す「デベロッププレイ」と呼ばれる制作手法を用いて、頭と身体をフル回転させながら誰も見たことのないスポーツを参加者のみなさんとつくっていきます。

続く運動会では、イベント内で作られたスポーツに、山口市でこれまでに作られた様々な新しいスポーツを加え、運動会種目として実施。チームごとに勝敗を競っていきます。「できたて」のスポーツがどのように競技されるのか — 発案者と競技者の創意工夫がダイナミックに交錯する運動会のフィールドは、学校や地域でおこなわれる運動会とは一味違う一味違う熱狂に包まれるでしょう。さまざまなアイデアが詰め込まれた未来の運動会を楽しんでください。

また、種目と種目の合間には、実施するスポーツに関するプレゼンテーションや、参加者との意見交換なども実施し、ただ運動会種目を実施するだけのイベントではなく、スポーツ共創の楽しさやその応用可能性について、知るきっかけをつくります。この機会に、山口で新しいスポーツをつくり、育てるサイクルに参画してみませんか？

■ 山口生まれの運動会種目の例



倒幕サバゲーム（2021年）

山口市徳地の歴史を学びながら老若男女が楽しめるサバイバルゲーム。走るの禁止で、スコープで相手の番号を読み取るだけのシンプルなゲームなのでいろんなフィールドを設定して楽しめる。

■ 山口市在住のクリエイター

廣田祐也（ひろた・ゆうや）

2002年山口市生まれ。スポーツを「する」ことが苦手だったことから、「つくる」ことでスポーツとの関わりを模索している。コミュニケーション手段としてスポーツを利用中。最近の主な活動に公園などに集まって身近な道具でスポーツをつくって遊ぶ会「Developplayground」などがある。

山根賢三郎（やまね・けんざぶろう）

5年ほど海外のスポーツ施設やコミュニティを見に放浪したのち帰国。放浪中に古い家をリノベーションしながら自由な暮らしをしている人たちに影響を受け、帰国してすぐ見つけた古民家に定住。野菜作り、セルフリノベーション、外国人受け入れの民泊などをしながらコミュニティのあり方と豊かな暮らしを模索している。数年前からキッチンカーを公園に持ち込み、多世代が集まれるスポーツフィールド『SPARK』を定期開催している。

開催概要

第7回未来の山口の運動会 —あつまれ！未来のスポーツ収穫祭

2023年5月5日（金・祝）10:30-18:00

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

参加費：無料（要申込）

対象年齢：小学生以上

定員：100名（先着順）

持ち物：運動しやすい服装、運動靴、タオル、飲み物、お弁当

タイムテーブル

10:00	受付開始
10:30-12:30	午前の部（スポーツハッカソン）
12:30-13:30	休憩
13:30-17:00	午後の部（未来の山口の運動会）
17:00-18:00	閉会式

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団、第7回 未来の山口の運動会実行委員会
後援：山口市教育委員会
協力：一般社団法人運動会協会
特別協賛：山口マツダ株式会社
共同開発：YCAM InterLab
企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

同時開催イベント

The Flavour of Power—紛争、政治、倫理、歴史を通して食をどう捉えるか？

2023年3月11日（土）～6月25日（日）10:00～19:00

会場：スタジオB、2階ギャラリー 入場無料

YCAMが実施する研究開発プロジェクト「食と倫理リサーチ・プロジェクト」の成果を発表する展覧会です。

次期開催イベント

浪のしたにも都のさぶらふぞ

2023年6月3日（土）～9月3日（日）

会場：スタジオA 入場無料

台湾を拠点に活躍する許家維（シュウ・ジャウエイ）、張碩尹（チャン・ティントン）、鄭先喩（チェン・シェンユウ）の新作を発表する展覧会です。

申込方法

下記ウェブサイト内に用意された申込フォームに必要事項をご記入ください。

URL：

www.ycam.jp

申込受付開始日

3月19日（日）